

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 中学校教育への円滑な接続を目指した小・中一貫教育の推進
- 基礎的・基本的事項の徹底と確実な定着
- 「話す・聞く」を中心とした国語力の向上

＜本年度の学力向上策＞

- 1 中学校教育への円滑な接続を目指した小・中一貫教育の推進のために
(スローガン:「ゆめに むかって ともに あかるく すすむ なかま」)
 - (1) 中学校教員とのT. Tの推進。
 - (2) 小学生と中学生による、吹奏楽合同演奏会、特別支援学級作品展や児童会と生徒会によるいじめ防止への取組検討等児童生徒の相互交流、教員の合同研修会、小学校のバスケットボール大会への審判、中学校合唱コンクール審査員としての参加、授業参観等、多岐に渡る交流。
 - (3) つばみの日の授業、部活動見学。
 - (4) 中学校区合同研修会で、実態を理解するための交流、共通のルールの確認や生徒指導情報の意見交換。
- 2 基礎的・基本的事項の徹底と確実な定着のために
 - (1) 朝の時間、ドリルやプリント等に取り組むチャレンジタイムの継続実施。
 - (2) 加配教員等による少人数指導の推進。
 - (3) 家庭学習の手引きやチャレンジカードの実施。
- 3 「話す・聞く」を中心とした国語力の向上のために
(研究主題:「話す・聞く」言語活動を通じて、伝え合う力を育てる指導方法の工夫・改善～小・中一貫視点からの自分の考えを豊かに表現できる子の育成を目指して～)
 - (1) 話し合い活動の手だての明確化。
 - (2) 話し合い活動時、児童が活用できる教室掲示の作成。
 - (3) 国語科以外の教科や学校生活の中での国語力向上(語彙、話型)。
 - (4) スピーチ、音読、暗唱の継続。
 - (5) 本の紹介(読書郵便)の交流。

＜本年度の振り返り＞

- ・ つばみの日だけではなく、球技大会を始めとした様々な行事の中で、中学生や中学校教員との接点もち、児童が中学校の情報を得る機会が増え、中学校入学前の児童の不安感の払しょくにつながっている。また、授業規律等の共通理解も図られた。しかし、細かいルールについては、次年度さらに検討を進める予定である。
- ・ モデルの提示やトークタイム等の、話し合い活動の手だてにより、授業の中での児童の発言が活発になった。しかし、市学習状況調査の国語における、話すこと・聞くことの項目を見ると、学年ごとに結果のばらつきがあり、継続した指導が必要である。